

# 事務事業評価表

平成13年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042 - 751 - 9142
担当部課名	消防本部	警防	課	救急対策室
事務事業名	救急活動費		事業コード	23130

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	~63年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

消防法第35条の5（救急業務）
-----------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
社会的環境の変化に伴い、年々増加する救急事故（年間20000件以上）に備え円滑な救急業務を行うとともに、市民に均等な救急サービスができたよう24時間中出動態勢を整え対応する。		市民	
		対象数	61万人
(4) 総合計画・実施計画における概要			
< 13年中の救急活動状況 > 救急車出場件数 21,967件 傷病者搬送件数 20,568人 救急隊員出場者数 65,952人			
(5) 個別計画の概要			
計画名			
計画年次	年度~	年度	

4 評価指標

指標名	救急車出場率		
	100%		
指標式	$\frac{21967（救急車要請件数）}{21967（救急出場件数）} \times 100$		
指標設定の意図	市民からの救急車出場要請に対する救急車の出場件数の率で示す		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 100	b 100	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算（予算）額	14,915	15,733	18,212	18,780
	人員・時間数	99	99	99	99
	人件費	833,580	833,580	833,580	833,580
	その他経費				
	合計	848,495	849,313	851,792	852,360
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	市民からの救急車出場要請に全て対応した。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	人口の増加及び少子高齢化等の社会的現象に伴い、救急需要件数が年々増加しているため対応を図っている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	人命の救護の目的からして、費用対効果として表すことはできない。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適切か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市民へのきめ細かな救急サービスを実現するため、県等への役割の分担については考えられない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	現在 全ての救急事故要請に対応しているが、現場到着時間が一部の地域で5分以上かかる地域があるため、救急隊の増強等整備計画を進めている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	市民の尊い命を救うため有効な施策である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> 今後も増加する救急要請に対応するため高度な知識・技術を習得した救急救命士の配置と救急隊の増強が必要である。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> 年々増加する救急業務に対応するため、更に活動費用が必要となり、改善の余地は考えられない。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	各自治体とも国の指導等により救急業務の高度化の推進を進めている。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	国の救急業務の高度化の推進に係る計画により、更に事業推進をする必要が求められている。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--